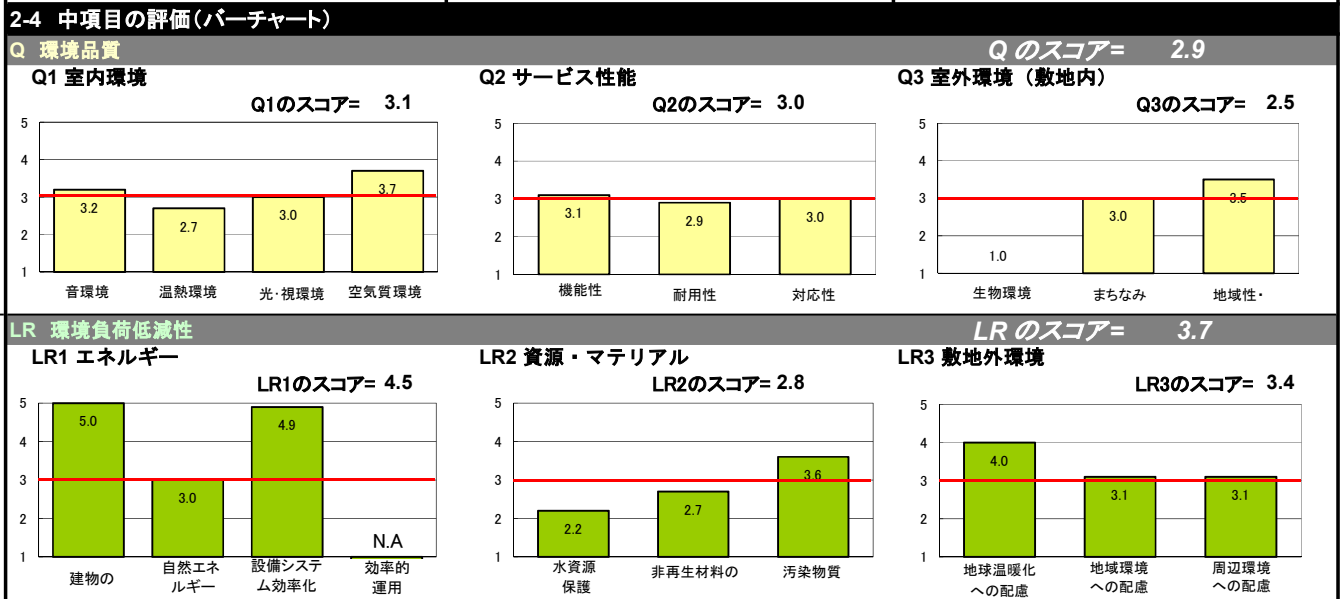
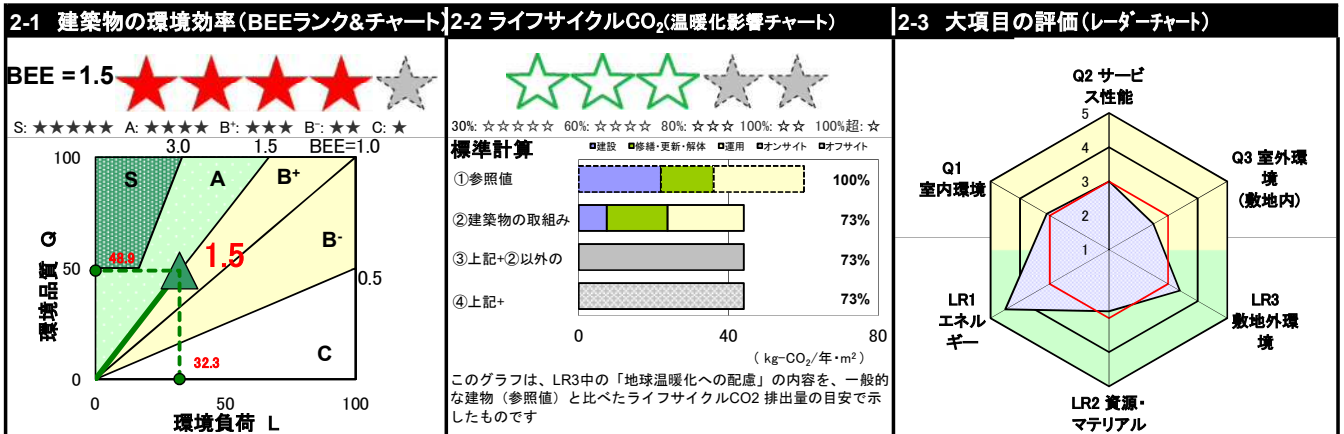


川崎市建築物環境配慮制度受付番号 14076

建築物名称	イニシア元住吉
建築主	株式会社コスモスイニシア 企画開発本部 副本部長 柏木恒二
建築物の所在地	川崎市中原区井田杉山町605-1他
設計者氏名、建築士事務所名	中川 浩一郎 株式会社三輪設計 東京本社 一級建築士事務所
工事種別	新築
床面積の合計	4,089.86m ²
用途	共同住宅
構造	鉄筋コンクリート造
階数	地上5階
工事完了年月	平成28年6月
自然エネルギーの利用 (利用を検討した自然エネルギーの種類)	太陽光発電、太陽熱利用、燃料系潜熱回収瞬間式給湯器
自然エネルギーの利用 (利用を決めた自然エネルギーの種類)	燃料系潜熱回収瞬間式給湯器

1-1 建物概要		1-2 外観		14076
建物名称	イニシア元住吉	階数	地上5F	外観パース等 図を貼り付けるときは シートの保護を解除してください
建設地	川崎市中原区井田杉山町605-1他	構造	RC造	
用途地域	第一種中高層住居専用地域、準防火地域	平均居住人員	154 人	
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年	
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2016年6月 竣工	評価の実施日	2015年1月13日	
敷地面積	1,791 m ²	作成者	株式会社イズミシステム設計	
建築面積	1,164 m ²	確認日	2015年1月22日	
延床面積	4,090 m ²	確認者	株式会社三輪設計	



CASBEE-川崎2011 (v.1.2)

インシア元住吉

14076

重点項目についての環境配慮概要

内訳対応項目	各項目について配慮した内容を記述してください。	実績重点項目スコア 合計/ 重点項目最高点のスコア合計	重点項目への 貢献点注) (5点満点)
緑の保全・回復(G)		Gの平均点	2.8
Q-3 ■ 室外環境(敷地内)対策 1 生物資源の保全と創出 2 まちなみ・景観への配慮 3 3.2 敷地内温熱環境の向上	庇等の水平投影面積率: 35%、緑被率等: 53.8%、舗装面積率: 18.2%	2.1/4.3	2.5
LR-3 ■ 敷地外環境対策 2 2.2 温熱環境悪化の改善		0.5/0.8	3.0
地球温暖化防止対策の推進(W)		Wの平均点	3.1
Q-1 ■ 室内環境対策 2 2.1 2.1.3 外皮性能 3 3.1 3.1.3 屋光利用設備 3.2 3.2.2 屋光制御	専有部(D3タイプ):カーテン、庇にて制御	3.8/5.9	3.2
Q-3 ■ 室外環境(敷地内)対策 1 生物資源の保全と創出 3 3.2 敷地内温熱環境の向上	庇等の水平投影面積率: 35%、緑被率等: 53.8%、舗装面積率: 18.2%	0.9/2.3	2.0
LR-1 ■ エネルギー対策 1 建物の熱負荷抑制 2 自然エネルギー利用 3 設備システムの高効率化 4 効率的運用	品確法における省エネルギー対策等級4 潜熱回収型給湯器(エコジョーズ)を採用	4.6/5.0	4.6
LR-2 ■ 資源・マテリアル対策 1 水資源保護 2 非再生性資源の使用量削減 3 フロン・ハロンの回避	LGS工法又は木下地工法のため、躯体と仕上げが容易に分別可能 不活性ガス消火剤を使用、ODP=0、GWP=50未満の断熱材を使用	2.6/4.6	2.8
LR-3 ■ 敷地外環境対策 2 2.2 温熱環境悪化の改善		0.5/0.8	3.0
資源の有効利用による循環型地域社会の形成(R)		Rの平均点	2.9
Q-2 ■ サービス性能対策 2 2.2 部品・部材の耐用年数	品確法における劣化等級3 B:給水-硬質塩化ビニルラインング鋼管・排水-硬質塩化ビニル管、Eなし	0.3/0.5	3.2
LR-2 ■ 資源・マテリアル対策 1 水資源保護 2 非再生性資源の使用量削減	LGS工法又は木下地工法のため、躯体と仕上げが容易に分別可能	2.0/3.9	2.6
LR-3 ■ 敷地外環境対策 2 2.3 地域インフラへの負荷抑制	駐輪場有、敷地内車路有、駐停車スペース有り	0.3/0.4	3.9
ヒートアイランド現象の緩和(H)		Hの平均点	3.2
Q-3 ■ 室外環境(敷地内)対策 1 生物資源の保全と創出 3 3.2 敷地内温熱環境の向上	庇等の水平投影面積率: 35%、緑被率等: 53.8%、舗装面積率: 18.2%	0.9/2.3	2.0
LR-1 ■ エネルギー対策 1 建物の熱負荷抑制 2 自然エネルギー利用 3 設備システムの高効率化 4 効率的運用	品確法における省エネルギー対策等級4 潜熱回収型給湯器(エコジョーズ)を採用	4.6/5.0	4.6
LR-3 ■ 敷地外環境対策 2 2.2 温熱環境悪化の改善		0.5/0.8	3.0

注)重点項目に該当する評価項目の得点(重み係数付)を集計し、当該項目の最高点の合計に対する貢献度を示した点数。

重点項目への貢献点の平均点 **3.0**

ライフサイクルCO2評価対象項目についての環境配慮概要

内訳対応項目	各項目について配慮した内容を記述してください。	実績スコア合計/ 最高点のスコア合計	ライフサイクル CO2評価対象 項目への 貢献点注) (5点満点)
建設段階			
Q-2 ■ サービス性能対策 2 2.2 2.2.1 躯体材料の耐用年数	品確法における劣化等級3	0.1/0.1	5.0
修繕・更新・解体段階			
LR-2 ■ 資源・マテリアル対策 2 2.2 既存建築躯体等の再利用 2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		0.8/1.4	3.0
運用時のエネルギー			
LR-1 ■ エネルギー対策 1 建物の熱負荷抑制 2 自然エネルギー利用 3 設備システムの高効率化 4 効率的運用	品確法における省エネルギー対策等級4 潜熱回収型給湯器(エコジョーズ)を採用	4.6/5.0	4.6

注)ライフサイクルCO2評価対象項目に該当する評価項目の得点(重み係数付)を集計し、当該項目の最高点の合計に対する貢献度を示した点数。

CASBEE-川崎2011年版						欄に数値またはコメントを記入				
イニシアティブ										
スコアシート		実施設計段階				14078				
配慮項目	G	W	R	H	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
						評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質										
Q1 室内環境										
1 音環境										
1.1 騒音										
1 室内騒音レベル										
2 設備騒音対策										
1.2 遮音										
1 開口部遮音性能										
2 界壁遮音性能										
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)										
4 界床遮音性能(重量衝撃源)										
1.3 吸音										
2 温熱環境										
2.1 室温制御										
1 室温										
2 負荷変動・追従制御性										
3 外皮性能										
4 ゾーン別制御性										
5 温度・湿度制御										
6 個別制御										
7 時間外空調に対する配慮										
8 監視システム										
2.2 湿度制御										
2.3 空調方式										
3 光・視環境										
3.1 屋光利用										
1 屋光率										
2 方位別開口										
3 屋光利用設備										
3.2 グレア対策										
1 照明器具のグレア										
2 屋光制御										
3 映り込み対策										
3.3 照度										
3.4 照明制御										
4 空気質環境										
4.1 発生源対策										
1 化学汚染物質										
2 アスベスト対策										
3 ダニ・カビ等										
4 レジオネラ対策										
4.2 換気										
1 換気量										
2 自然換気性能										
3 取り入れ外気への配慮										
4 給気計画										
4.3 運用管理										
1 CO ₂ の監視										
2 喫煙の制御										

Q2 サービス性能										
1 機能性										
1.1 機能性・使いやすさ										
1	広さ・収納性									
2	高度情報通信設備対応									
3	バリアフリー計画									
1.2 心理性・快適性										
1	広さ感・景観									
2	リフレッシュスペース									
3	内装計画									
1.3 維持管理										
1	維持管理に配慮した設計									
2	維持管理用機能の確保									
3	衛生管理業務									
2 耐用性・信頼性										
2.1 耐震・免震										
1	耐震性									
2	免震・制振性能									
2.2 部品・部材の耐用年数										
1	躯体材料の耐用年数	R								
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	R								
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	R								
4	空調換気ダクトの更新必要間隔	R								
5	空調・給排水配管の更新必要間隔	R								
6	主要設備機器の更新必要間隔	R								
2.4 信頼性										
1	空調・換気設備									
2	給排水・衛生設備									
3	電気設備									
4	機械・配管支持方法									
5	通信・情報設備									
3 対応性・更新性										
3.1 空間のゆとり										
1	階高のゆとり									
2	空間の形状・自由さ									
3.2 荷重のゆとり										
3.3 設備の更新性										
1	空調配管の更新性									
2	給排水管の更新性									
3	電気配線の更新性									
4	通信配線の更新性									
5	設備機器の更新性									
6	バックアップスペース									
Q3 室外環境(敷地内)										
1 生物環境の保全と創出				G	W		H			
2 まちなみ・景観への配慮				G						
3 地域性・アメニティへの配慮										
3.1 地域性への配慮、快適性の向上										
3.2 敷地内温熱環境の向上				G	W		H			

LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.7
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	4.5
1 建物の熱負荷抑制	W	H	品確法における省エネルギー対策等級4	5.0	0.40	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.20	-	-	3.0
2.1 自然エネルギーの直接利用	W	H		3.0	0.50	-	-	
2.2 自然エネルギーの変換利用	W	H		3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化	W	H	潜熱回収型給湯器(エコジョーズ)を採用	4.9	0.40	-	-	4.9
集合住宅以外の評価 (ERRIによる評価)				5.0		-	-	
集合住宅の評価				4.9		-	-	
4 効率的運用				-	-	-	-	-
4.1 モニタリング	W	H		3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制	W	H		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	2.8
1 水資源保護	W	R		2.2	0.15	-	-	2.2
1.1 節水				1.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	1.00	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				2.7	0.63	-	-	2.7
2.1 材料使用量の削減	W	R		2.0	0.07	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用	W	R		3.0	0.24	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	W	R	-	3.0	0.20	-	-	
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用	W	R	-	1.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材	W	R		2.0	0.05	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	W	R	LGS工法又は木下地工法のため、躯体と仕上げが容易に分別可能	4.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.6	0.22	-	-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.32	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				4.0	0.68	-	-	
1 消火剤	W		不活性ガス消火剤を使用	4.0	0.33	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)	W		ODP=0、GWP=50未満の断熱材を使用	5.0	0.33	-	-	
3 冷媒	W			3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮	W		LCCO2排出率73%	4.0	0.33	-	-	4.0
2 地域環境への配慮				3.1	0.33	-	-	3.1
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善	G	W	H	3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.5	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減		R		3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制		R		3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制		R	駐輪場有、敷地内車路有、駐停車スペース有り	5.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制		R		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮				3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	
1 騒音				3.0	1.00	-	-	
2 振動				-	-	-	-	
3 悪臭				-	-	-	-	
3.2 風害・砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制				3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制				1.0	-	-	-	
3 日照障害の抑制				3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制				3.7	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			広告物照明等なし	4.0	0.70	-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-	

14076

イニシア元住吉

このマンションは分譲住宅環境性能表示の届出を行っています。

建築主は分譲共同住宅環境性能表示を販売広告に掲載した日から15日以内に届け出る
ことになっており、これにより公表しています。



この表示は川崎市の定めた基準に従って、建築主が自らの計画を評価した内容に基づいています。